

# 漢文

## 学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科	2年7,8組 A2 (発展) コース
平成28年11月16日(水) 第7校時	図書館
教科・科目：漢文	単元名：『史記』 「鴻門の会」

本 時 案		
目 標	○歴史書『史記』の文学性に気づくことができる。(読む能力) ○教科書の内容に即して人物像を読み取り, 話し合おうとする。(関心・意欲・態度)	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
1 本時の目的を確認する。  2 動画を見て, 登場人物と場 面を確認する。  3 それぞれの人物にどうい うイメージを持っているか発表す る。  <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; display: inline-block;">主体的な学び</div>	○本時の目的を提示する。  ・教科書p35「司馬遷の歴史観・人間観 が表現されており, 文学性に富んだ歴史書 である」と書かれているが, 本当にそう なのか, 検証する。  ○教科書本文のイメージをつかみやす くするために動画を見せる。 ・「項羽」「劉邦」「范増」「項伯」「項 壯」「張良」を画面に映し出し, それぞ れの名前を尋ねる。 ・座っている場所や, 動きで判断でき るようにする。  ○「彼氏にするなら」「上司にするなら」 「友だちにするなら」「好きなのは」「嫌 いなのは」誰かを考えさせ, その理由を付 箋に書かせる。付箋を張って, それをま とめる。 ・それぞれの人物のイメージをもつこと ができたのはなぜか問う。	(関心・意欲・態度) A: 主体的な考えを持ち, 班で協力しながら積極的に 説明する。 B: 班で協力しながら説明 する。 C: 他者のことを考えずに 説明する。
4 『史記』 「高祖本紀」と比 べ読みをする。	○「高祖本紀」に描かれている「鴻門の会」 の様子を音読させる。 ・「高祖本紀」では簡潔に描かれ, 人物に ついての描写がほとんどないことに気づ かせる。	(読む能力) A 「高祖本紀」と「項羽本 紀」を読み比べ, 人物の描 写の違いに気づく。 B 「高祖本紀」と「項羽本 紀」を読み比べ, 違いがあ ることに気づく。 C 読み比べても違いが分か らない。
5 まとめ	○生徒の気づきを確認する。 ・『史記』の中でも文学性がよく表れてい る部分とそうではない部分があること ・「項羽本紀」では特にその文学性が強く 表れていること。 ・司馬遷が文学のように「項羽本紀」を描 いたのはなぜだと思いか考えさせる。	

# 数学 I

<p>数学 I 学習指導案</p> <p>岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科 1年7組 A(発展)コース 21名</p> <p>平成28年11月16日(水) 第2校時 1年7組教室</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------

本 時 案 (第1次の第3時)		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱ひげ図の良さについて知る (知識・理解)</li> <li>箱ひげ図を用いてデータの傾向を読み取ることができる (数学的な技能)</li> </ul>	
学 習 活 動	指 導 ・ 支 援 上 の 配 慮 事 項 な ど	評 価 規 準 , 観 点 , 評 価 方 法
<p>1 本時の目標及び学習内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時の目標</p> <p>1 箱ひげ図の良さについて知る</p> <p>2 箱ひげ図を用いてデータの傾向を読み取ることができる</p> </div>		
<p>2 (1) 箱ひげ図のかき方を知り, 実際にかいてみる (短期完成ノートP8 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8</span> に取り組む)。</p> <p>(2) 箱ひげ図の簡便さをヒストグラムと比較する (プリント使用)。</p> <p>(3) 2 (2) でかいた箱ひげ図とプリントに印刷してある箱ひげ図を比較して, 読み取れることを考察する。あわせて, 箱ひげ図を用いると複数のデータ比較がしやすいことを知る。</p> <div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>主体的な学び</p> </div> <p>(4) センター試験問題に挑戦する (2016年追試問題より抜粋)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)の四分位数については教員主導で一斉に確認させる。</li> <li>ペアの一方がヒストグラムを, もう一方が箱ひげ図をかくことで, かかる時間を比較させる。</li> <li><b>箱ひげ図から読み取れることを個人で考えさせた後, ペアで意見交換させる。</b></li> <li>読み取りができていない生徒に対しては, 「散らばり具合」などのキーワードを提示する。</li> <li>箱ひげ図が大まかな様子を知ることには有効であるが, 箱ひげ図だけでは判断できない場合もあることを極端なデータ例を提示することで確認させる。</li> <li>基本的に個人で取り組むが, 分からない場合は相談してもよいことを途中で伝える。</li> </ul>	<p>○箱ひげ図の良さについて知る (知識・理解)</p> <p>〈評価方法〉 机間指導による観察</p> <p>○箱ひげ図を用いてデータの傾向を読み取ることができる (数学的な技能)</p> <p>〈評価方法〉 机間指導による観察, 発問</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>*努力を要する状況にある生徒への支援</p> <p>ペアに質問するよう促す。ただし, 対話が苦手な生徒については, 机間指導時に考察のポイントを伝える。</p> </div>
<p>3 本時の振り返りをし, 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱ひげ図の有用性についてペアで相互に確認させる。</li> <li>次時は分散について学習することを伝える。</li> </ul>	

# コミュニケーション英語 I

外国語（英語）科 学習指導案		
岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科 1年4組		
平成28年11月16日(水) 第5校時 1年4組教室		
単元 (題材)	Lesson 6 Roots & Shoots (『CROWN English Communication I』三省堂)	
本 時 案 (第4時)		
目標	○本文の内容を主体的に読み取ろうとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ○本文の内容について理解することができる。(外国語理解の能力)	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>【本時の目標】</b>                      本文の内容を主体的に読み取ろうとし、また正確に読み取ることができる。                 </div>		
<p>1. 導入</p> <p>新出語を読む。 本文を音声に続けて読む。</p> <p>2. 展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6文 “Besides, for our own good, there are ~.” の意味を確認する。</li> <li>for our own good の具体的内容を考える。</li> </ul> <div style="border: 2px solid yellow; padding: 2px; text-align: center; margin: 5px 0;">主体的な学び</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>第12文 “If we destroy that pattern, ~.” の意味を確認する。</li> <li>all things can go wrong の具体例を考える。</li> </ul> <div style="border: 2px solid yellow; padding: 2px; text-align: center; margin: 5px 0;">主体的な学び</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>第18文 “The farmers then killed the foxes, ~.” の意味を確認する。</li> </ul> <p>3. まとめ</p> <p>音読活動 (残り時間に応じて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声と同時読み</li> <li>Read &amp; Lookup</li> <li>シャドーイング</li> </ul>	<p>展開部では生徒とのやり取りをしながら進めていき、生徒を引きこみ、生徒からことばを引き出すことに留意する。</p> <p>実際に薬が植物から開発された例を紹介する。</p> <p>a whole pattern の部分で、食物連鎖の図を提示し、生徒の理解を深めさせる。</p> <p>オオカミ・シカ・森林の関係を紹介し、生徒がこの後のウサギ・キツネ・ネズミの関係がイメージしやすいようにする。</p> <p>過去完了が正しく理解できているかを確認させる。</p>	<p>声を出して音読ができているか。(関心・意欲・態度)【観察】</p> <p>主体的に読解に取り組んでいるか。(関心・意欲・態度)【観察】</p> <p>本文の内容を理解できているか。(外国語理解)【観察】</p> <p>声を出して音読ができているか。(関心・意欲・態度)【観察】</p>

# コミュニケーション英語 I

外国語（英語）科 学習指導案		
岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科 1年3組		
平成28年11月16日(水) 第5校時 1年3組教室		
本 時 案 (第3時)		
目 標	<p>○音読活動や、ペアワークに積極的に取り組むことができる。また、本文の内容を主体的に読み取るうとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> <p>○英語で質問をすることができる。(外国語表現の能力)</p>	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
1 前時(Section2)の単語テスト		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>【本時の目標】</b> 積極的に音読のペアワークに取り組んだり、本文の内容を尋ねる質問を考えたりすることで、本文の内容理解を深める。</p> </div>		
<p>2 音読活動</p> <p>○コーラスリーディング</p> <p>○ペアになり、適語補充しながら音読をする。</p> <p>3 本文の並び替え</p> <p>○本文のインタビューの質問と答えを並べ替える。</p> <p>○ペアになり、それぞれの答えを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>主体的な学び</p> </div>	<p>○デジタルテキストを使用。内容を考えながら音読するよう指示する。</p> <p>○本文(Section1,Section2)に空所を設けたプリントを配布。空所補充ができない部分については、ペアはヒントを与えて相手に補充語を考えさせるよう指示する。</p> <p>○本文の質問の部分と、答えの部分の切ったものを一人一組配布。質問と答えはそれぞれ違う色の用紙に印刷し、インタビュー形式が視覚的にもイメージしやすいよう作っておく。</p> <p>○解答をスライドで表示して、答え合わせをさせる。</p>	<p>○音読活動や、ペアワーク積極的に取り組むことができる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)【活動の観察】</p>
<p>4 本文の一部を復元</p> <p>○テキストを見ないで、本文中のインタビューアの質問を復元する。</p> <p>○ペアになり、それぞれの質問文を確認する。</p>	<p>○本文のインタビューアの質問だけをぬいたプリントを配布。</p> <p>○テキストを見て答え合わせをさせる。</p>	<p>○英語で質問をすることができる。(外国語表現の能力)【ワークシート】</p>